

製品安全データシート

1 製品及び会社情報

製品名: プロコン40
 会社名: 田島ルーフィング株式会社
 住所: 東京都足立区小台1-3-1
 担当部門: 開発部
 電話番号: 03-3927-1143
 Fax番号: 03-3927-1571
 作成日: 2007年05月21日
 改訂日:

2 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分: 混合物
 化学名: 亜硝酸リチウム 40%水溶液

成分	化学式	官報告示整理番号		CAS No.	含有量 %
		化審法	安衛法		
亜硝酸リチウム	LiNO_2	1213	整理番号なし	13568-33-7	40
水	H_2O	対象外	整理番号なし	7732-18-5	60

注意事項: 官報告示整理番号・安衛法「整理番号なし」は、労働省告示に基づく。
 含有量は、設計標準値又は代表値を示す。

「労安法、PRTR法、毒物及び劇物取締法に関する情報」

労働安全衛生法: 該当せず
 PRTR法: 該当せず
 毒物及び劇物取締法: 該当せず

3 危険有害性の要約

危険性: 不燃性物質。酸性物質と接すると褐色の NO_x ガスを発生する
 有害性: 皮膚や目、粘膜に炎症を起こす。経口接種・吸入すると急性中毒を起こし、極めて危険。
 環境影響: 水棲生物に対し有害。
 分類の名称: 分類基準に該当しない。

4 応急処置

目に入った場合: 直ちに清浄な水で最低15分間洗浄した後、直ちに眼科医の手当を受ける。
 皮膚に付着した場合: 直ちに大量の流水にて洗浄する。汚染された衣服を脱がせ、再度洗い流す。
 吸入した場合: 安静にさせて新鮮な空気のある場所に移し、必要な場合は人工呼吸をし、直ちに医師の手当を受ける。
 飲み込んだ場合: 指を喉に差し込むなどして嘔吐させ、直ちに医師の手当を受ける

5 火災時の措置

消火方法: 水溶液であり燃焼しない。
 消火剤: 未設定。

6 漏出時の措置

- ・砂や土、セメントで封じ込める。
- ・少量の時は、大量の水で洗い流す。
- ・酸類で中和してはならない。

7 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い： ①飲用は絶対にしないようにしてください。
- ②多量に吸入すると、急性中毒を起こします。
- ③水溶液単体のスプレー塗装は避けて下さい。
- ④皮膚に付着するとかぶれる場合がありますので、取り扱いの際は保護メガネ、ゴム手袋、皮膚に付着しにくい作業服を着用し、皮膚に付着しないようにしてください。本製品の付着した保護具、衣類を長時間着用しないでください。
- ⑤酸性物質と接触させると分解してNO_xガスを発生するので、絶対に接触させないようにしてください。その他の混合を避ける物質としては、ヒドラジン及びその水和物、過酸化水素または過マンガン酸カリウム等の酸化性物質、アンモニウム塩がある。
- ⑥草木にかかると枯れる場合があります。また魚等にも影響することがあるので、特に廃棄処分する場合はセメントと混ぜて硬化後処分するか、水で十分に薄めて大量の水で洗い流すようにして下さい。
- ⑦ウレタン系の材料が十分に硬化していないときに接触すると、化学反応によりウレタン黄変を見ることがありますので、この種の材料を施工される場合は養生や清掃また事前の相性を確認の上十分に注意して下さい。
- 保管： ①材料が入っている容器は、衝撃により破損させないで下さい。
- ②40℃以上、0℃以下となる所には保管しないで下さい。0℃以下では結晶が析出する。
- ③業務用です。子供の手の届かない所に保管して下さい。

8 曝露防止及び保護措置

管理濃度： 未設定
許容濃度： 未設定
設備対策： 未設定

保護具：

- 呼吸用保護具： ミストを確実に遮断できるものを着用する。
- 保護眼鏡： サイドシールドの付いた眼鏡、ゴーグル型の眼鏡を着用する。
- 保護手袋： ゴム手袋など水を通さないもの。袖口から本製品が入らないようにすること。
- 保護衣： 水を通さないもの。本製品が付着しても、皮膚にまで触れないもの。

9 物理的及び化学的性質

外観： 淡黄色透明水溶液
比重： 1.20～1.30
pH： 9～11
沸点： データなし。
融点： データなし。
分解点： 亜硝酸リチウム(固体)は185℃で分解する。
溶解度： 亜硝酸リチウム(固体)の溶解度は0℃で約42%である。

10 安定性及び反応性

引火点: なし
 発火点: なし
 爆発限界: なし
 可燃性: なし
 発火性(自然発火性、水との反応性): なし
 酸化性: あり
 自己反応性・爆発性: なし
 粉じん爆発性: なし
 安定性・反応性: 酸化物質とは絶対に混合してはならない。pH7.0以下では、NO_xガスを発生して危険である。その他混合を避ける物質として、ヒドラジン及びその水和物、過酸化水素または過マンガン酸カリウム等の酸化性物質、アンモニウム塩がある。

11 有害性情報

皮膚腐食性: 長時間接触すると、皮膚から水分を奪い、炎症を生じさせる。
 刺激性(皮膚、眼): 人の皮膚、目、粘膜に対して刺激性がある。
 感作性: データなし。
 急性毒性: 亜硝酸リチウム40%液のLD50(マウス)は419.3mg/kgである。
 経口摂取・吸入すると急性中毒を起こし、極めて危険。症状として嘔気、嘔吐、チアノーゼ、動悸、血圧下降が見られ、ヘモグロビンの70%以上がメトヘモグロビン化すると致命的中毒を起こし、運動失調、著しい血圧下降、虚脱、昏睡、呼吸麻痺を起こす。リチウムについては、低ナトリウム状態時に多量に経口摂取すると中毒症状として、嘔吐、失調、錯乱、肝障害、下痢、腎障害を起こすと報告されている。
 亜急性毒性: データなし。
 慢性毒性: データなし。
 亜硝酸ソーダについては、[食品添加物公定書解説書第7版]に、ラットに飲料水に溶かした100mg/kgの濃度の亜硝酸ソーダを毎日、全生涯ならびに3世代にわたって投与したが、各器官の著変は認めず、蓄積毒性も認められなかったと報告されている。
 がん原性: IARCなどの発がん性物質のリストにリストアップされていない。尚、亜硝酸ソーダについては、昭和56年に終了した厚生省がん研究助成金による研究によれば、飲料水濃度0.125%、0.25%の亜硝酸ソーダをラットに2年間投与したが、投与群と対照群の間に腫瘍発生について有意差を認めていない。
 変異原性(微生物、染色体異常): データなし。
 生殖毒性: データなし。
 催奇形性: データなし。

12 環境影響情報

分解性: 自然界では、亜硝酸酸化細菌により酸化されて硝酸塩になる。
 蓄積性: データなし。
 魚毒性: 水棲生物に対して有害。
 TLm(ヒダカ) 24hrs 120ppm、48hrs 84ppm、72hrs 70ppm
 (亜硝酸リチウム固形分当たり)

13 廃棄上の注意

少量廃棄の場合、大量の水で希釈し(1000倍以上)中性化して排出する。
 但し、酸類と接触しない安全な場所を選んで排出すること。

1.4 輸送上の注意

- : 取り扱い及び保管上の注意の項の記載による。
- : 船舶または航空機による輸送においては、「un」マーク入りの容器で輸送する必要。

1.5 適用法令

- 労働安全衛生法: 該当せず
- P R T R 法: 該当せず
- 毒物及び劇物取締法: 該当せず

1.6 引用文献

- | | | |
|--------------------------------|----------|----------|
| 14102の化学商品 | 化学工業日報社 | 2002年1月 |
| 労働安全衛生法MSDS対象物質全データ | 化学工業日報社 | 2000年9月 |
| 化学物質管理促進法P R T R・MSDS全データ(改訂版) | 化学工業日報社 | 2002年1月 |
| 「産業中毒便覧」第1刷 | 医歯薬出版(株) | 1977年10月 |

*記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しておりますが、新しい知見によって改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。
記載内容は情報提供であって保証するものではありません。